杉谷さんとともにまちを創る会
２０２１年　１１月　２日発行

杉谷ひろば

11月号
No. 128
向日市上植野町西小路３－４
杉谷ひろば（連絡先は頁下）

市民参加でまちを変えよう！　ホームページ：http://sugi.pupu.jp/

市長に予算要望書を提出

現在向日市では、来年度に行う事業予算の編成作業が進められています。私は、10月14日に市長と面談し、市民の皆さんのご意見をもとにまとめた「予算要望書」を提出し、来年度予算への反映、および今後の施策の検討を求めました。この要望内容をもとに今後も議会で取り上げてゆきます。引き続きご意見・ご提案をお願いします。予算・施策要望の一部を下記に紹介します（全文は「杉谷さんとともにまちを創る会」ホームページに掲載しています）。

向日市議会議員　杉谷伸夫　所属政党なし
上植野町イトーピア在住。大阪市生まれ。京都大学工学部卒業。ＧＳユアサ（旧日本電池）勤務を経て、2011年より向日市議会議員3期目。66才

残念な選挙結果だが、引き続き全力

衆議院総選挙で、私は安倍ー菅政治を根本から変えることを訴え、立憲野党を応援しました。また街頭シール投票で市民の皆さんの声を聞いてきました（２－３面に報告）。選挙結果は大変残念でしたが、この間お聞きしてきた皆様の声を活かすため、引き続き全力で取り組みます。(11月1日・杉谷　伸夫)

主な予算・施策要望
（一部を紹介）

●地球温暖化対策
気候非常事態宣言を発し危機意識をもって温暖化対策を進める。常設の環境審議会を設置する。向日市の環境配慮方針を定め、再生可能エネルギー調達を優先する。

●新型コロナ対策
新型コロナ感染症の第６波以降に備え、希望する市民がＰＣＲ検査または抗原検査を安価に受検できるよう、市の補助制度を創設する。

●保育施策
未来の保育士奨学金制度の効果を検証し、保育士確保に実効性のある制度への拡充を行う。

取組み・催しの案内

★11月13日（土）10時　寺戸公民館・大会議室
「市民参加でまちをつくる会」

●ＩＣＴ教育
教員支援のため専門のＩＣＴ支援員を配置する。

●高齢者支援
高齢者ごみ出し支援を市の事業として実施する。

●開発事業
ＪＲ向日町駅東口開設の事業内容ごとの事業費・財源の内訳見込みについて明らかにする。

●情報公開
市の行財政情報を市民に公開・共有できるオープンデータ・システムを構築する。

連絡先
ご相談はまずお電話を！　TEL 090-8384-5984（携帯）　FAX 075-921-4101
メール peace@fa2.so-net.ne.jp　ホームページ　http://sugi.pupu.jp/

街頭でシール投票

市民の声が生かされる政治を!

10月いっぱい、市内各地で市民生活と社会の重要なテーマ４つについて、市民の意見を聞く「シール投票」に取り組みました。テーマは、①消費税、②公的病院の統廃合・病床削減、③沖縄の新基地建設、④森友・加計・桜を見る会の疑惑究明の４つ。駅前やスーパー前で道行く人に無差別で呼びかけ、約２１９人の市民に投票に参加いただきました。若い人もけっこう投票に参加してもらえたと思います。ここに示された市民の声が政治に反映されるよう求めてゆきます。（結果は３面）

↑ ＪＲ向日町駅前：人通りは少ないけど

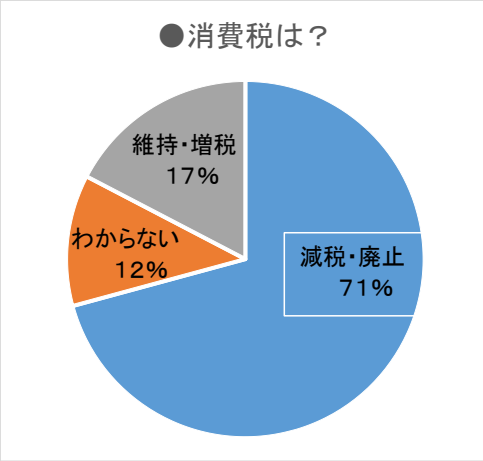
↓東向日イオン前：買い物の年配者が多く投票参加

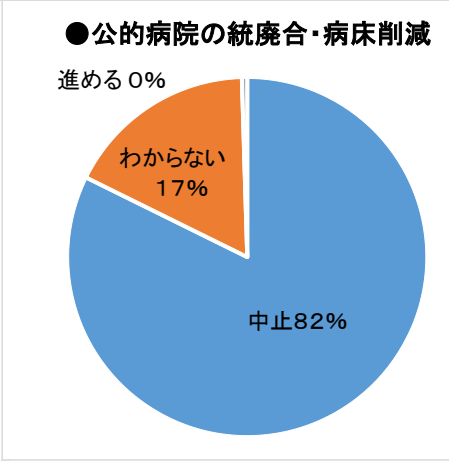
↑ 阪急西向日駅前：道が狭いので大変でした

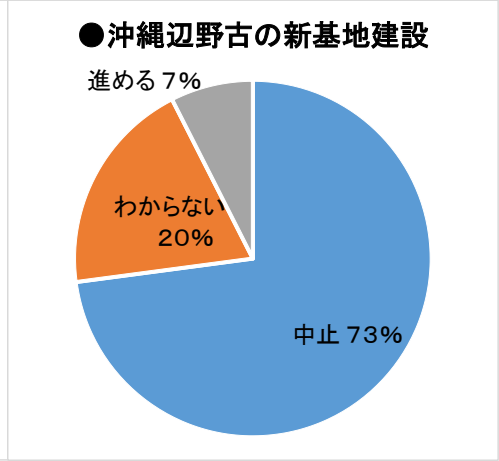
↓ＪＲ桂川駅前：高校生や中学生も多く投票に参加

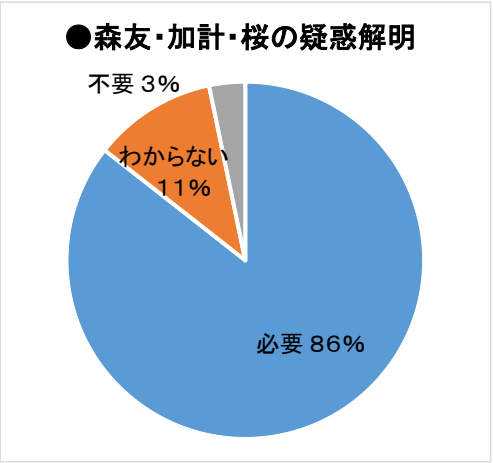
↑ 阪急洛西口駅前：突風が吹く中で苦労しました

↓長岡京万代前：長岡京市内の女性グループが協力









●消費税について

「国の財政危機」宣伝の影響が大きく、「消費税を無くしたら財源をどうするのか？」という声を多く聞きました。消費税の増税分が富裕層の所得税・法人税の減税の穴埋めに回っている事実が、十分伝わっていないと感じました。

●公的病院の統廃合・病床削減について

削減を「進める」という意見は１人だけでしたが、「よくわからない」の声が一定数ありました。コロナ禍の今年５月に病床削減を推進する法改正が行われたことは、大半の方がご存じありませんでした。重要な情報が伝わっていません。

●沖縄辺野古の新基地建設について

特に若い人に「わからない」が多かった。最近、沖縄の基地建設問題が余り報道されず、市民の関心が薄れているのではないか心配です。

●森友・加計・桜の疑惑解明について

全ての設問中、多くの方が迷わず「必要だ」に投票されていました。国民は再調査・真相究明を求めていることがハッキリしました。

命と生活を守る社会に！ 10･31 団結まつり

「沖縄とともに」寄せ書き手渡す

１０月３１日、「命と生活を守る社会に変えよう」と訴え「関西団結まつり」が大阪・扇町公園で開催され、参加してきました。

メインゲストは、遺骨収集ボランティアの具志堅隆松さん。沖縄戦戦没者の遺骨を含む土砂を辺野古基地建設のための埋め立てに使うな！と全国に訴えています。

具志堅さんが発した全国の自治体議会への要請書を受けて、向日市議会でも国への意見書を採択したことを伝えました。報道によると、同様の意見書は130超の自治体に広がっているようです。

この日にむけて、市民の皆さんにご協力いただいた連帯メッセージの布（56枚）を貼った檄布を

舞台で報告する具志堅隆松さん(中央)と私(その右後ろ)

具志堅さんにお渡ししました。檄布の中央には、真っ赤なハイビスカスの花と「沖縄とともに」のメッセージを大きく配置しました。またこの間、市内各地で取り組んだシール投票ボードも持っていって、会場で報告しました。　（杉谷）

岸田内閣は吉か凶か

安野 洋子

10月4日、第100代首相に選ばれた岸田文雄。祖父、父親に続く三代目らしいが、その事実は知らなかった。対立候補で敗れた河野太郎は、祖父一郎、父親洋平とも活躍したが、二人とも首相にはなれなかったので、河野太郎もかという気がする。岸田より河野の方が自民党を変革する力があると思ったが、出る杭は打たれると言うが、ズケズケ発言するし、以前反原発の本を出していたのも嫌われたのだろう。

しかし河野が首相にならなかったことが、野党にとっては好材料ではないか。岸田の特技は「聞く力」というが、ぜひ実践して欲しいものだ。新自由主義で生まれた格差社会を正し、株で大儲けしている人からしっかり税を取り立てると言ったのに、首相になった途端に消えた。それに選択的夫婦別姓や同性婚も認めないと、自民党右派の政策に同調してしまった。これでは今まで９年の安倍・菅政権の延長ではないか。首相が118回も嘘の答弁をし、国の公文書改ざん事件を産み出し、赤木さんという自殺者まで出したことを忘れてはならないし、しっかり説明すべきなのにやらないという岸田にはガッカリである。そして内閣を組閣してすぐ解散して10月31日に選挙というのにも驚いた。 Ｇ２０サミットが31日に開かれるというのに、首相が出席しないのも無責任だ。

ともかくこの９年間の体たらくの自民党を痛い目に合わせて欲しいものだ。今回は野党共闘ができたことも大きいと思う。野党の方が得票が多かったのに、バラバラだったために自民党に議席を与えるという腹立たしいことがあったから、与野党逆転まで行かなくても、野党が多くなり強い存在になる必要がある。世界の潮流に逆行するような自民党に厳しい評価が下されることを期待したい。（11月30日）

選挙の結果、岸田内閣は吉でも凶でもないというところ。野党共闘が成功しなかったので、立民が減ったのでがっかり。吉村人気の大阪の維新には驚くばかりである。（11月1日）

シリーズ 気候非常事態⑧

現状では達成困難！

国際機関から相次ぐ警告

今年８月９日に公表された、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第６次評価報告書は、「人間の影響が大気、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない」と従来より踏み込んだ強い表現で断定しました。

さらに10月26日には、国連環境計画（UNEP）が、温暖化ガスを実質ゼロにすると表明した50ケ国・地域が、現在提出済みの計画を達成しても、今世紀末の温度上昇がパリ協定の最低目標である２℃を超えるとの試算を公表し、警告を発しました。現在の取り組みの延長では、温暖化防止の目標達成は厳しい実態が浮き彫りとなりました。

10月31日からは、イギリスで国連気候変動枠組条約第26回締約国会議（COP26）が始まりました。開会式で、開催国イギリスのシャーマ議長は「急速に変化する気候は世界への警鐘を鳴らしている」と警告しました。

日本政府は

日本政府は、2030年に2013年比で温室効果ガス46％排出削減の目標を公表していますが、先進各国と比べるとかなり見劣りする目標です。しかもその目標ですら「大変厳しい」として後ろ向きの声も出ています。余りに危機意識がありません。

向日市では

現在、今後10年間の環境基本計画づくりが進められています。10月22日に開かれた「第２回環境基本計画策定委員会」で示された検討案では、基本目標のトップに「気候変動対策を推進する」が掲げられていました。市民とのワークショップの開催も検討されているようです。私たち自身と将来世代が生きる地球環境を守る問題ですので、我が事として取り組んでいきたいものです。